



この冬は暖冬で、雪不足に頭を痛めている方々が大勢おられるとのニュースを耳にします。ふと考えてみますと、朝の出勤途中、例年なら道路の水たまりが凍っているのを見かけることがありますが、この冬は氷が張っているのを一度も見たことがありません。体感的に「寒い」と思うこともありますが、例年から比べると暖かいことが証明されているんだなあと感じています。しかし、寒くなるとの予報も出ていますので、寒暖差に十分気をつけましょう。また、暖冬とは言えインフルエンザは例年通り流行しており、今年度尼崎市内の小学校でも1月31日現在、35小学校148学級、5中学校16学級で学級閉鎖になっています。現在も、毎日のように学級閉鎖の報告がされています。また新型コロナウイルス患者が日本でも報告されていますので、子どもたちはもちろん我々も予防に努め、健康管理に十分注意をしていきたいと思います。



サイバー犯罪教室 (高等部 1月9日)

兵庫県警サイバー犯罪対策課の武田巡査部長から、犯罪に巻き込まれないためのインターネット等の利用方法など、具体的な事例を挙げていただきながら学習しました。子どもたちは、十分気をつけることを学ぶことができたのはもちろんですが、お話の中で、就職する際、履歴書からSNSなどで学生時代の様子等を調べる企業が増えており、その情報で不採用になるケースも多いとの内容が印象的でした。



物品販売進路学習 (1月23日)

「あまーち」から、卒業生の田岡さん、与那嶺さん、柿本さんと職員の方にお越しいただき、「あまーち」での仕事内容や、仕事上での困難な点、やりがいなどをお話いただきました。高等部の生徒が中心でしたが、中学部の生徒も参加し、真剣に話を聞き入っていました。そのあと物品販売が行われ、小学部の子どもたちも参加し、先輩の販売する姿と、実際に買い物することを通して学習することができました。



昔遊び体験 (小学部低学年 1月16日,28日)

近隣地域の老人会の方々をゲストティーチャーにお招きし、昔遊びを通して子どもたちと触れあっていただきました。コマ回し、お手玉、凧あげ、けん玉など近年ではなかなか体験しないような遊びを教えてくださいました。老人会の皆様から、「校内に入る機会がなかったのだから子どもたちが通っているのを知ることができて良かった。子どもたちが頑張っている様子を感じられた」とのお話しをいただきました。今後も地域とのつながりが広がるような活動ができればと思っています。



保護者向け福祉講演会 (1月29日)

市の障害者支援課から6名の方を講師としてお迎えし、利用できるサービスやサービス内容などを教えていただきました。市内の学校等にも案内したところ、小学校38名、中学校10名、高校3名、阪特14名の参加者がありました。昨年度、外部からの参加者が少なかったことを考えると、市内移転が、こんな場面でも効果をもたらしていることを実感しています。保護者の方には、参加並びに受付などご協力いただきありがとうございました。

お知らせ

令和元年10月からの消費増税改訂に伴い、ゆうちょ銀行の返金手数料が、**65円から66円に変更**されています。連絡が大変遅くなり申し訳ございません。ご理解いただきますようお願いいたします。